

平成28年度 事業報告

1. 平成28年度の当財団の基本財産運用収入は、0.46%の運用益となりました。

2. 啓発事業

(1) 一般部門

①当財団のメイン事業である「とやま環境賞」の第21回表彰式を、平成29年3月11日（土）午後2時より富山テレビ本社ホールで開催し、下記の1個人6団体を表彰しました。

「優秀活動賞」

○黒部市若栗公民館

長年にわたり親子清掃活動などを継続し、河川環境の保全に努め、環境意識の高揚に努めている。

○南砺市連合婦人会

「次代に残そうみどりの里と人のやさしさ」をスローガンに、海岸清掃などに取り組み、環境美化啓発活動を続けている。

○鳥山成一

長年にわたり大気汚染、河川底質、地下水等の環境調査に従事し、酸性雨や黄砂などの大気環境の研究で、環境保全の推進に貢献。

「ジュニア活動賞」

○高岡市立中田小学校 4年生

総合的な学習の時間のテーマに環境問題を取り上げており、ホタルの発生状況調査や郷土の水のすこやかさ調査を行うなど、地域と一体となった環境教育を継続している。

○富山市立岩瀬小学校 5年生

岩瀬浜の海岸清掃を行い、ゴミを分別し、それぞれの個数と量を記録する漂流物調査で、地域一体となった環境教育を深めている。また、県外小学校との交流会で「イタイイタイ病」について発表するなどして環境意識を県外へ発信。

○富山県立高岡高等学校 2学年探究科学科NOWPAP班

六渡寺海岸に多く散らばっているマイクロプラスチックに着目し、海洋生態系への影響を調査すると共に、海岸清掃活動に積極的に参加。また、マイクロプラスチック問題のミニ講座や環境ビデオメッセージ制作などで、環境保全意識向上に貢献。

○富山県立中央農業高等学校 生物生産科ドジョウ農法研究班

平成27年からドジョウの除草効果で稲を育てるドジョウ農法に取り組んでいる。昨年は、大規模水田での除草効果の立証に挑戦。農家にドジョウ農法の有効性を紹介するなど、環境に優しい米作りの普及に努めている。

この表彰式の様子は富山テレビ放送で放送されました。また、それぞれの活動の様子も企画ニュースとして、「みんなのニュースBBTチャンネル8」で放送されました。

- ②富山の降雪量の特徴や傾向と、冬の寒さを利用したカンカン野菜プロジェクトなどの取り組みを紹介する番組「富山の冬と雪」を15分番組として制作し、3月25日（土）富山テレビ放送で放送しました。
- ③当財団と富山テレビ放送で「ジオグラフィックとやま」を5分番組として毎週2回、年間を通じて制作・放送し、自然環境の保全を提唱しました。
- ④当財団と国土交通省立山砂防事務所の主催による第20回「SABO体験楽校」を8月2日（火）～8月4日（木）の2泊3日で実施しました。県下の高校生10名が参加し、立山カルデラでの砂防工事の体験学習をしました。

（2）情報部門

水や環境情報、団体などが行っている環境活動を富山テレビ放送の協力を得てニュースなどで随時紹介しました。

3. 普及事業

（1）普及広報活動

- ①国土交通省 富山河川国道事務所、黒部河川事務所、立山砂防事務所、利賀ダム工事事務所と共催で「川の絵画コンクール」を開催し、10月25日（火）に富山河川国道事務所で開催式を行いました。県内の小学校182校から4,356点の応募があり、故郷の川への思いとエピソードが伝えられました。また、優秀作品を取り込んだ「川の絵画カレンダー」を参加者及び県内の小学校に配布しました。
- ②「親子で学ぶ！夏休み自然体験学習」をトヨタ白川郷自然学校の協力を得て実施しました。8月20日（土）、21日（日）の2日間、16組32名の親子が「水と森のつながり」をテーマに自然体験学習をしました。この様子は8月26日（金）の「みんなのニュースBBTチャンネル8」で紹介されました。
- ③富山県ひとづくり財団、富山テレビ放送との共同主催で「水みらいプロジェクト2016」を実施しました。身近な水生生物や植物の飼育・観察を通じて水環境の大切さを学ぶ活動を助成し、その研究活動を紹介する「チャレンジ学校水族館」と、富山の重要な地形や地質に触れて大地の永い歴史を体験学習する「ジオパーク探検隊」を3月26日（日）に55分番組として富山テレビ放送で放送しました。併せて、両番組を収録したDVDを収めた記録集を県内の小学校及び関係機関に配布しました。

(2) 催事・研究助成

- ①射水市絵本文化振興財団に環境教育に役立つ絵本の購入費を助成しました。
- ②日本黒部学会に賛助金を助成しました。
- ③射水市 海・川の森づくり事業に助成しました。